

美瑛富士・携帯トイレブース等点検パトロール実施報告書

(2018.6.25 改定)

実施年月日	2018年9月2日	団体名/所属先	北海道道央地区勤労者山岳連盟
参加人数	11人	報告者	伊吹省道

NO	点検項目	結果と措置内容
1	携帯トイレブース本体 (テントの破損は無いかな、固定ロープの緩み等)	特に問題なし。
2	携帯トイレブース内 (汚れていないか、便座の破損はないかな等)	アンモニア臭がしたが、特に便座は汚れていない。念のため便座と脚を濡れティッシュで拭いた。
	ブース利用カウンター値	カウンター数値：1262
3	小屋周辺のティッシュや汚物の散乱状況 (ティッシュや汚物の回収数の確認、その他のゴミ散乱状況確認、回収)	ティッシュ回収数：5ケ (テン場のそば) 汚物の回収数：0 ペグ1本、ゴミ2ケ。
4	小屋内外 (損傷した箇所はないかな等)	なし。
5	小屋内 (清掃はされているか、放置したゴミはないか、小さなゴミは回収したかな等)	土間にゴミ (笹) 少し、回収した。 出入り口の天井板の薄張りがめくれていた。 雨漏りのせいかな？
6	小屋配備の携帯トイレの補充	在庫：0個。補充：14個
7	回収ボックス (白金観光センター隣のトイレ横) *鍵番号は530 (ゴミゼロ)	カウンター数値：カウンター、鍵なし。 携帯トイレの数：8ケ。空き缶ゴミ1ケ回収。

感想・特記事項

- ①登山ポストからのゆるい道から尾根に上る階段のそばに「スズメバチの一種」の巣があり多くの登山者が刺されていた。我々のパーティ10人中、先頭の2人を除き8名が数か所刺された。すぐリンデロンVG軟膏で処置して様子を見たが8人とも局所の症状のみで全身症状には至らなかったため登山を継続した。エピペンとポイズンリムーバーは伊吹が所持していた。早急に駆除などの対処が必要です。
- ②すでにご承知かもしれませんが、避難小屋の出入り口の天井板の薄張りが数か所めくれていました。何らかの対処が必要と思います。
- ③下山して来る数人の縦走登山者のザックにはモンベルのゴミ袋 (ガベッジバッグ4L) がくくりつけられていた (使用済みの携帯トイレを入れる袋として普及しつつあり)。

参加者名 (※はリーダー)

※伊吹、鎌田、山下敬、山下理（4名小樽労山）、小田切、永井、干場、田中、山下（5名札幌山びこ山友会）、渡部（札幌中央労山）、横関（札幌ピオレ山の会）、合計11名。内1名は体調不良のため駐車場待機。

●実施後、速やかに写真を添付し、メール(hokkaido@yamatoilet.jp)にて報告のこと